

東京23区が
見える。わかる。

2020 SPRING

Vol.40

ワンツースリー
One23

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の東京23区情報誌

特集

各区の歴史や 文化を知ろう!

■各区の歴史や文化を知ろう!

中野区…歴史民俗資料館

練馬区…石神井公園ふるさと文化館

文京区…文京ふるさと歴史館

港区…郷土歴史館

目黒区…めぐろ歴史資料館

■クマなくさんぽ

…自然と遊ぶ、自然に学ぶ、自然と共に生きる。

足立区都市農業公園

■所蔵資料蔵出し

…「関東地方 体錬歩行路圖 健脚向・第一輯」



もっと活用しよう!

特別区自治情報

こんなことしたよ

公益財団法人特別区協議会、特別区自治情報・交流センター特別展 「東京23区の歴史と制度～地図・読み物・クイズで知る特別区～」

東京区政会館1階エントランスホールにて公益財団法人特別区協議会、特別区自治情報・交流センター特別展「東京23区の歴史と制度～地図・読み物・クイズで知る特別区～」を開催(令和2年2月18日(火)～3月26日(木))しました。特別区協議会が発行する情報誌や刊行物をはじめ、特別区自治情報交流センターが所蔵する古地図の紹介を行いました。また、問題に答えながら、特別区の制度と歴史が学べるクイズパネルの展示も行いました。

特別区協議会では引き続き、東京区政会館1階エントランスホールを活用した企画展示を開催いたします。皆様のご来館をお待ちしております。



展示の様子



展示の様子



展示の様子

こんなことしたよ

令和元年度特別区全国連携プロジェクト 第2回全国連携展示(奈良県町村) 「世界遺産にふれ 日本始まりの地 奈良をめぐる」

特別区長会と連携協力協定を締結した奈良県町村会との連携事業として、奈良県町村の紹介展示を令和2年1月7日(火)から2月13日(木)にわたり、東京区政会館1階にて開催しました

今回の展示では、のどかな自然や素朴な風景が残り、悠久の歴史を感じることができる奈良県町村を紹介したパネル等を展示したほか、奈良県町村のパンフレットの提供、自治体PR動画の上映を行いました。

展示を見た来場者からは、「奈良の世界遺産について詳しく知ることができてよかった。」等の感想をいただきました。

展示期間中の関連イベントとして、令和2年1月23日(木)に、奈良県の特産品を販売し、多くの方で賑わいました。奈良県町村の素晴らしさや魅力を発見し、交流を深めていただくきっかけとなる展示となりました。



高松塚古墳壁画「飛鳥美人」の再現衣装を展示



展示の様子



展示の様子



特産品販売の様子

交流センター

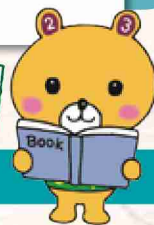
特別区自治情報・交流センターとは？

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約9万6千冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

所蔵資料
蔵出し

おすすめのほんだよ

特別区に関する資料から読み解いてみよう!



▶▶▶ 「関東地方 たいれんほこうろず 體鍊歩行路圖 だいいっしゅう 健脚向・第一輯」

今回紹介する「體鍊歩行路圖」は、東京近郊を中心とした現代でいうハイキングコースを紹介しており、昭和十七年に刊行されました。ハイキングコースは家族向け、一般向け、健脚向けと分かれており、目的ごとに選ぶことができます。

今回は健脚向けである上級者向けのコースをみていきましょう。



権現山

「體鍊歩行路圖 健脚向・第一輯」は、ハイキングコース地図70枚が小袋に収められています。健脚向けとあるように、登るには難しい上級者向けのコースが紹介されています。

そのなかで一番初めに紹介されるのが、山梨県にある権現山です。権現山は、一名大室山ともいわれ非常に展望にすぐれており、富士山を眺望することができます。また、山頂直下に日本武尊を祭神とする大室権現の奥ノ院があり、盗難防衛のご利益もあるそうです。

A	新宿駅 中央線 二時間	高尾駅 二時間	尾山 西〇分	浅川村 二時間三〇分	権現山 三〇分
コ	権現山 三〇分	二本杉 二時間	浅川 二時間半	上野原町 三〇分	上野原駅 西 二時間四〇分
ス	新橋駅 又ノ川線 二時間	地蔵 四〇分	大野 四〇分	四方津駅 西 二時間三〇分	新橋駅
ユ	新宿駅 中央線 二時間	権現山 三〇分	七保橋 二時間半	七保村 二時間	浅川村 二時間
コ	浅川村 二時間三〇分	権現山 (以下Aコースに同じ)			



この山を登るには左記の2通りのコースが紹介されています。Aコースでは新宿から往復で約12時間、Bコースでは約13時間かかります。

苗場山

次に紹介するのは、長野県北東部の県境に位置する苗場山です。苗場山は「その廣濶さには誰も思はず感嘆の聲を發せずにはゐないであろう。」と本文にあるように、美しい山として有名です。山頂から見渡せば、富士山をはじめ浅間山、北アルプスの山々をみることができます。

コ	上野原(新夜發) 五時間半	越後湯沢駅 西〇分	八木澤 二時間	外ノ川小畑 二時間	
イ	苗場ヒュウチ 三時間半	湯沢駅 二時間半	苗場山 五〇分	湯沢駅 二時間半	
ス	二時間	外ノ川小畑 二時間半	八木澤 二時間	越後湯沢駅 四時間半	上野原。



この山を登るには左記のコースが紹介されています。上野駅から往復で約26時間かかります。

★これらの古い資料は実際に手にとって閲覧いただけます。興味のある方はお気軽にカウンターまでお声がけください。

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

コマなく さんぽ



足立区

足立区の農業の歴史と 自然との共生を学ぶ施設 「足立区都市農業公園」

1984年に開園し、1995年にリニューアルオープンした足立区都市農業公園は、「自然と学ぶ、自然に学ぶ、自然と共に生きる」をテーマにした公園です。自然環境とふれあい体験することで得られる、さまざまな学びを提供しています。

自然と学びにあふれる施設

園内には、熱帯植物が栽培されている温室やハーブ園がある「人と自然の共生館」、足立の産業のひとつだった染色や紙すき体験のできる「工房棟」、園で収穫した野菜を使った料理が楽しめる「レストハウス」、区内から移築した江戸時代末期の古民家と長屋門など、足立区の自然と農業をテーマにした施設が揃っています。工房棟には、昔の農機具の展示室もあり、かつて盛んだった足立区の農業の歴史を伝えています。

園内の各施設には自然解説員が常駐しており、施設の説明や園内のガイド、バラエティに富んだ環境教育プログラムの実施などを担当しています。

自然と農業をテーマに運営

園内にある田畑は、農業と環境との関わりを学ぶ場として大きな役割を担っています。田畑では無農薬無化学肥料による栽培が行われ、農業体験などによる産業としての農業と自然環境との共生についての学びを提供しています。農作業は主に自然解説員やボランティアが行いますが、来園者を対象にした田植えや稲刈りや野菜の収穫体験、無農薬無化学肥料栽培での野菜の作り方教室なども実施しています。

園内に咲く四季折々の花々も、見どころのひとつです。春には、「五色桜」と呼ばれる約50種290本の桜や河川敷のチューリップ、秋にはコスモス、冬には梅が咲き誇り、訪れる人の目を楽しませています。

有機農業見本園を目指して

足立区都市農業公園では、「緑と農と食と地域のフィールドミュージアム」の実現に向けて、さまざまな取り組みを行っています。各施設では、楽しみながら自然を学ぶことができる多彩なプログラムが、毎日実施されています。季節ごとに開催されるイベントも充実しており、自然とふれあうことを目的に、区内外からたくさんの人々が訪れます。

今後は、「都市における有機農業見本園」を目指しながら、より充実したプログラムやイベントの実施と、さらなる周知を図っていきます。



園内の田んぼで稲刈り体験



昔の農機具を展示/工房棟



↑レストハウスでは、収穫したの野菜を使った料理が食べられる

年に5回、大きなイベントを開催しています。

約50種290本の桜を楽しもう!

園内では約50種290本の桜を見ることができます。早咲きから遅咲きのもので品種によって咲く時期も様々なので、3月から4月下旬まで楽しめます。

濃紅色・白色・黄緑色など色とりどりの花が咲いた風景は、まるで五色の雲をたなびかせたように見えたことから「五色桜」と呼ばれています。美しい桜の咲く風景をぜひお楽しみください。



足立区都市農業公園

所在地	足立区鹿浜2-44-1
開園時間	9:00 ~ 17:00(9月~4月) / 9:00 ~ 18:00(5月~8月)
休園日	第1・第3水曜日、12月29日~1月1日、4月は休園日なし
入園料	無料
駐車料金	普通車100円/30分(当日最大900円)、 大型車200円/30分(当日最大1,800円)
アクセス	東武伊勢崎線・西新井駅より 鹿浜都市農業公園行バス終点下車目の前
お問い合わせ	03-3853-4114



特集

各区の歴史や

中野区



ココが見どころ

中野の歴史を集めた「中野みどころの樹」

中野ならではの歴史と文化財を一堂に集めた「中野みどころの樹」ゾーン。リニューアルした常設展示スペースの中心にある円柱を利用したインパクトのある展示で、「宝仙寺三重塔」「御囲」「哲学堂公園」「江古田獅子舞」「鷲宮囃子」の5つのテーマを詳しく紹介しています。

リニューアルオープン記念展示「山崎家の名品」開催中～5/31(日)

中野区の名誉都民であり、資料館の土地の寄付主である山崎家が所有していた美術品を公開。隣接する茶室と樹齢500年のシノキがある庭園も同時に公開する(～5/6(水))。

常設展示がリニューアルし 4月1日にオープン!

リニューアル後の常設展示は、中野の歴史を90秒で紹介するガイダンス映像や、再現古民家で昔の衣装を着る体験学習、通史展示の背景画像へのイメージ映像投影、中野区ゆかりの文化人等の情報を検索できる端末の設置など、見どころ満載。隣接する旧山崎邸の茶室と庭園も期間限定で公開されます。



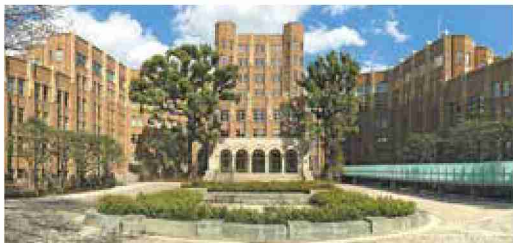
山崎記念 中野区立歴史民俗資料館

所在地 中野区江古田4-3-4
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日 月曜日、第3日曜日、12月28日～1月4日
入館料 無料
アクセス 西武新宿線・沼袋駅より徒歩8分
お問合わせ 03-3319-9221



建物丸ごと歴史的資料の 見応えある郷土歴史館

港区の指定文化財である「旧公衆衛生院」の建物を活用し、港区の自然や歴史、文化を深く知り交流する拠点として、2018年に開館しました。1938年に建設された建物は当時の状態を多く残しており、建物内部と一部展示は無料で見学することができます。有料の常設展示は大きな3つのテーマで展開しており、見応えのあるものになっています。



港区立郷土歴史館

所在地 港区白金台4-6-2 ゆかしの杜内
開館時間 日～金9:00～17:00、土～20:00
(入館は閉館30分前)
休館日 第3木曜日(祝日の場合は前日)、年末年始、特別整理期間
入館料 常設展:大人300円、小・中・高校生100円、
区内在住・在学の小・中・高校生、区内在住の
65歳以上の方、区内在住の障害者とその介護者(1名)無料
アクセス 東京外環線・都営地下鉄三田線・白金台駅より徒歩1分
or 南北線・三田線・白金台駅より徒歩1分
お問合わせ 03-6450-2107



港区



ココが見どころ

さわられて学べるコミュニケーションルーム

ミンクジラの骨格標本のほか、貝層断面や土器、昭和30年頃に使われていた生活道具など、実物資料にさわりながら学ぶことのできるコミュニケーションルームは、入室無料です。港区の歴史を映像で紹介するガイダンスルームとともに、常設展の導入の役割を担っています。

4月25日(土)～6月28日(日)

特別展 1964年東京オリンピックと都市の交通—今に生きるオリンピック・レガシー—
特別展:大人400円、小・中・高校生200円、常設展セット券:大人600円、小・中・高校生200円

文化を知ろう!



見てふれて体験しながら 練馬区の歴史・文化を学ぶ

豊かな歴史や自然に恵まれた石神井公園に隣接する「ふるさと文化館」は、練馬区の歴史や伝統文化、自然などについての展示や情報発信を行う博物館です。さわることでできる実物資料が多数展示され、体験しながら歴史や文化を学ぶことができます。敷地内には、茅葺屋根の古民家「旧内田家住宅」があり、昭和初期の姿を再現しています。



練馬区立石神井公園ふるさと文化館

所在地 練馬区石神井町5-12-16
開館時間 9:00～18:00
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、臨時休館日
入館料 無料
アクセス 西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分
西武新宿線「上井草駅」下車 徒歩25分
西武バス「JA東京あおば」下車 徒歩5分
西武バス「三宝寺池」下車 徒歩2分
お問い合わせ 03-3996-4060



ココが
見どころ

昭和30年代後半の駅前広場の情景を再現

昭和30年代のメニューが並ぶ「中華そば屋」に「たばこ屋」、爆発的なヒット商品となったオート三輪「ダイハツミゼット」など、高度成長期の情景を実物大で再現しています。広場では、昔ながらの遊びや、昭和47年の練馬区内の民家での暮らしを体験することができます。

企画展「スポーツの祭典1964—オリンピックと練馬—」 観覧料:無料
令和2年4月18日(土)～6月10日(水) 石神井公園ふるさと文化館2階 企画展示室
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせ、オリンピックと練馬区域の人々との関わり、昭和39(1964)年の東京オリンピックに向けての盛り上がりや、前後の地域の変化などを紹介します。



練馬区

目黒区

ココが
見どころ

目黒新富士の胎内洞穴を実物大で再現

1959年にとり壊された目黒の富士塚「新富士」は、江戸時代後期に富士山を模して築かれ、庶民の富士山信仰と観光の地として賑わっていました。1991年の新富士遺跡発掘調査の際に発見された「胎内洞穴」を型取り保存して再生し、洞穴内で発見された「大日如来像」とともに展示しています。

「郷土玩具へのまなざし～菱田コレクション展～」 開催中～9/6(日)

故菱田忠夫氏による郷土玩具などのコレクション約1,200点から、蒐集のきっかけとなった獅子頭、こけしや凧など各地の郷土玩具、かるた・トランプなどを厳選して紹介します。

目黒区の歴史と人々の暮らしをたどる時間旅行

旧目黒区立第二中学校の校舎を利用して、2008年に開館。常設展示では、目黒の地の特徴とそこに住む人々の暮らしの移り変わりをテーマに、旧石器時代から現代までの資料を展示しています。企画展や関連の講演会、学芸員による解説なども、常設展と同様に全て無料で、誰もが気軽に目黒の歴史を学ぶことができます。



目黒区めぐろ歴史資料館

所在地 目黒区中目黒3-6-10
開館時間 9:30～17:00
休館日 月曜日(休日の場合は翌日)、年末年始
入館料 無料
アクセス 東急東横線、東京メトロ日比谷線・中目黒駅より徒歩12分
お問い合わせ 03-3715-3571



23区には魅力あふれる歴史と文化が盛りだくさん。
 今回は中野区・練馬区・文京区・港区・目黒区の
 計5区を特集するよ。

文京区

ココが
見どころ

明治時代の団子坂菊人形のジオラマ

幕末から明治にかけて千駄木の団子坂では、菊の花を衣裳としてまとった等身大の「菊人形」のイベントが盛んに行われ、最盛期の明治20～30年代には、歌舞伎や昔話などをテーマにした20軒以上もの菊人形興行が軒を連ねました。見物客でにぎわう団子坂の様子を、精巧なジオラマで再現しています。

ボランティアガイドの解説で展示をより楽しむ

毎週土日の13:00～17:00には、ボランティアガイドが常設展示室のご案内をしています。事前申し込み不要・無料ですので、お気軽にご利用ください。

“文の京”文京区の 豊かな歴史と文化にふれる

文京区の豊かな歴史と文化を、1階の通史展示と2階のテーマ展示の2部構成で紹介。実物資料のほか、精巧なジオラマなどにより、江戸の武士や町人たちの暮らしや、文京ゆかりの文学者などについて展示しています。コンピュータシステムでは、さまざまな角度から歴史情報を検索でき、クイズやパズルで楽しく学ぶことができます。



文京ふるさと歴史館

所在地 文京区本郷4-9-29
 開館時間 10:00～17:00
 休館日 月曜日および第4火曜日(祝日の場合は翌日)、
 全館くん蒸期間、年末年始
 入館料 一般100円、中学生以下・65歳以上無料、
 障害者手帳提示で本人と介護者1名無料
 ※特別展開催中は別に定める
 アクセス 東京メトロ丸の内線・都営大江戸線本郷三丁目駅より徒歩5分
 お問い合わせ 03-3818-7221



特集「各区の歴史や文化を知ろう！」

過去の号(Vol.37～39)で紹介してきました施設の一覧です。

詳しくは、特別区協議会のホームページから見るができます。(http://www.tokyo-23city.or.jp)

Vol.37 夏号(2019.7.1発行)

- 足立区
郷土博物館
- 荒川区
荒川ふるさと文化館
- 板橋区
郷土資料館
- 江戸川区
郷土資料室
- 大田区
郷土博物館
- 葛飾区
郷土と天文の博物館

Vol.38 秋号(2019.10.1発行)

- 北区
飛鳥山博物館
- 江東区
深川江戸資料館
- 品川区
品川歴史館
- 渋谷区
白根記念渋谷区郷土博物館・文学館
- 新宿区
新宿歴史博物館
- 杉並区
郷土博物館

Vol.39 冬号(2020.1.1発行)

- 墨田区
すみだ郷土文化資料館
- 世田谷区
郷土資料館
- 台東区
下町風俗資料館
- 中央区
タイムドーム明石(郷土天文館)
- 千代田区
日比谷図書文化館
- 豊島区
郷土資料館

特別区自治情報・交流センターからのご案内

特別区自治情報・交流センターでは、様々な講座や企画を開催しています。ぜひご参加ください。

※講座や企画の詳細は(公財)特別区協議会ホームページ(HP)をご覧ください。

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。

どなたでも自由にご覧いただけます。

開催時間 平日|9:00～20:30 土曜日|9:00～17:00 日曜日・祝日|休館

(公財)特別区協議会HP <http://www.tokyo-23city.or.jp/>

特別区全国連携プロジェクト 令和2年度第1回 全国連携展示(広島県町村)

主催 特別区長会
(公財)特別区協議会
日時 令和2年5月12日(火)
～6月18日(木)



刊行物のお知らせ

「わたしたちのまち 東京23区」発行

特別区協議会では、「東京23区のおいたち」、「東京23区のふしぎ」に続く特別区を紹介する新シリーズとして、このたび、「わたしたちのまち 東京23区」を発行しました。

この冊子のテーマは、東京23区のすがた、おいたちです。当協議会のマスコットキャラクターであるとくべつクマ®がナビゲートしながら、東京都の中の23の「区」のすがた、23の「区」となるまでのおいたちなどについて、写真やイラスト等を用いながら、目で見てわかりやすくご紹介しています。小学生をはじめ、特別区について基礎から学んでみたいという方にも楽しんでいただける内容となっています。

このシリーズは、今後も様々なテーマについて順次刊行していく予定です。

「わたしたちのまち 東京23区」は、特別区自治情報・交流センターで無料配布しているほか、当協議会ホームページでもご覧いただけます。ぜひご利用ください。



特別区自治情報・交流センター

千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館
開館時間: (4階)9:30～20:30
(土曜日は9:30～17:00)
休館日: 日曜日、祝日、年末年始等

One23に掲載されている各種資料等の情報はコチラ
<http://www.research.tokyo-23city.or.jp/>



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩5分

HP
<https://www.tokyo-23city.or.jp/tokei/shodana/index.html>
令和2年2月発行

編集後記

1年にわたりお送りしてきました特集記事「各区の歴史や文化を知ろう!」も今号で終了します。中面にもありますように過去の紹介施設は特別区協議会のHPで見ることができます。

貴重な資料や工夫を凝らした展示など、ご自身で確かめてみてください。(K、K&H)